

NPO法人越谷にプレーパークをつくる会



「遊び」で地域がつながる 元気になる「おちかくプレーパーク」

令和5年4月6日～令和6年3月19日（18日間）

外あそびってこんなに楽しかったんだ！

おちかくプレーパーク

で、あそぼう

ぼし、おひろくんとあそぶあそびで、
緑の公園に遊びに行こうよ！

【対象】
乳幼児親子、
小学生、
子どもたち

第1木曜日 中心に10時～12時	毎月第3火曜日 10時～12時
4/6 5/11 6/7 レイクタウン大芝生広場	千間台第四公園・広場前 / 千間台第4-2
7/6 8/3 9/7 レイクタウン湖岸の森公園	
10/5 TBSハウジング新居浜会場の 観音のつとめ広場	

参加費 無料
持ち物 帽子、飲み水、お弁当
お天気がよければお散歩もOK

NPO法人越谷にプレーパークをつくる会
緑のしらかばと基金助成事業



家ではなかなか遊べない絵具で
思いっきり遊ぶ子どもたち。



うちわを使ったシャボン玉
遊び。0歳でも遊べる。



遊び道具を積んだ当会のオリジ
ナルカーも出動しました。



お散歩中の親子や近隣保育所
の子ども達が遊ぶ千間台第4公園



住宅展示場でプレーパーク！



レイクタウン湖畔の森公園



夏是水遊びに夢中！



真冬でも、即席こたつでおし
ゃべりを楽しむママたち。

1500部を子育て支援施設等各所に配布

事業実施内容

スーツケースに遊び道具を詰め込んだ遊びキット「ころころ君」を子どもたちが普段利用する公園に持参し、いつもの公園を思いっきり自由に遊べる「おちかくプレーパーク」に変身させる活動。「遊び」を通して、子育て世代をはじめとする地域住民の交流促進を目指した。遊び場には「プレイワーカー」と呼ばれる遊び場づくりの専門家を配置し、親子が遊びに入りやすくなるきっかけづくり、参加者同士が交流しやすい雰囲気づくりを行った。第1木曜は乳幼児親子が遊び場を切実に求める声が多いレイクタウン地域で実施。加えて南越谷の住宅展示場スペースでの開催にも挑戦した。第3火曜は千間台第4公園で毎月開催した。

成果

全18回の遊び場開催でのべ347名の親子、地域住民の参加があった。
市内各所での遊び場開催を経て、外遊びを楽しむ親子の姿がとても少ないことが分かった。夏場の猛暑がその大きな原因のよう。遊び道具を持ち込むことで親子が公園で滞在する時間が長くなり、他の親子との交流の機会をつくることのできた。月に1回の開催を続けた千間台第4公園では、自ら遊び場づくりを始めた参加者がみられた。毎回同じ場所で開催することで参加者同士が顔見知りになり、孤立した子育てを防ぐことにつながった。通りすがりの地域の方ともおしゃべりする時間が生まれた。近隣の重症児デイサービスの子どもたちや、保育所の子どもたち、ときには学校を休んでいる小学生も参加者と一緒になって、誰もが自由に楽しく遊べる居場所づくりができた。



ホームページ



Instagram

「遊びあふれるまち、越谷」



しらかばと基金による助成のおかげで本活動を無事終えることができました！
スーツケースで始めた移動型のおちかくプレーパークは、現在オリジナルカーでの移動型プレーパークにレベルアップし、活動を継続しています。本活動で得た移動型の遊び場づくりのスキルも活かされています。本当にありがとうございました。
これからも子どもたちが思いっきり自由に遊び、安心して育つことのできる街づくりを頑張っていきたいと思っております！